



平成 20 年 9 月 30 日

各 位

会社名 住友化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 米倉 弘昌
コード番号 4005
上場取引所 東証・大証第1部
問合せ先 経理室部長 酒井 基行
(TEL. 03-5543-5265)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 9 日の決算発表時に公表しました連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,000,000	33,000	26,000	10,000
今回修正予想(B)	1,033,000	27,000	21,000	5,000
増減額(B - A)	33,000	6,000	5,000	5,000
増減率(%)	3.3%	18.2%	19.2%	50.0%
(ご参考)前中間期実績 (平成 20 年 3 月期中間)	931,896	48,364	57,664	26,396

2. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,080,000	95,000	100,000	55,000
今回修正予想(B)	2,110,000	70,000	60,000	15,000
増減額(B - A)	30,000	25,000	40,000	40,000
増減率(%)	1.4%	26.3%	40.0%	72.7%
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	1,896,539	102,397	92,790	63,083

3. 修正の理由

(第2四半期連結累計期間)

業績予想値の修正にあたっては、原料価格等の動向を考慮し、第2四半期連結累計期間の国産ナフサ価格は前回予想の67,000円/KLから79,000円/KLへ、また為替相場については前回予想の100円/\$から105円/\$へと見直しを行いました。その結果、主に石油化学、基礎化学の業績が悪化し、前回予想に対して、営業利益が 18.2%、経常利益が 19.2%、当期純利益が 50.0%、それぞれ減少する見込みです。

(通期)

通期につきましては、国産ナフサ価格を前回予想の67,000円/KLから75,000円/KL(下期70,000円/KL)へ、また為替相場を前回予想の100円/\$から105円/(下期105円/\$)へと見直しを行いました。その結果、主に石油化学、基礎化学の業績が悪化し、前回予想に対して、営業利益が 26.3%減少する見込みです。また、サウジアラビアにおけるラービグ計画について、一部設備の稼働開始を2009年第1四半期に見直した事等により、持分法損益の悪化を織り込みました。その結果、経常利益が 40.0%、当期純利益が 72.7%、それぞれ減少する見込みです。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上

(別紙)

平成20年9月30日
住友化学株式会社

部門別売上高・営業利益

(単位:億円)

		平成21年 3月期 前回発表予想 (A)	平成21年 3月期 今回修正予想 (B)	増減 (B - A)
基礎化学	売上高	3,250	3,200	50
	営業利益	100	20	120
石油化学	売上高	7,200	7,200	0
	営業利益	110	20	130
精密化学	売上高	1,000	1,000	0
	営業利益	90	75	15
情報電子 化学	売上高	3,400	3,450	50
	営業利益	225	195	30
農業化学	売上高	2,050	2,300	250
	営業利益	165	250	85
医薬品	売上高	2,400	2,400	0
	営業利益	310	310	0
その他	売上高	1,500	1,550	50
	営業利益	50	90	40
消 去	売上高	-	-	-
	営業利益	-	-	-
合 計	売上高	20,800	21,100	300
	営業利益	950	700	250